

令和8年度当初予算、令和7年度3月補正予算概要

令和8年度当初予算は、総合計画の成果目標である「将来を見据えた人口減少対策（好循環モデル）の実現」に向け、これまで積み重ねた取り組みに加え、将来に向けた新たな課題、社会の変化に対応し、敦賀を前に進めるための予算を計上しました。

予算編成に当たっては、国県支出金の積極的な活用を図るとともに、事業目的に応じ、ふるさと応援基金等からの繰入を行いました。また、国の補正予算にあわせて事業の一部を令和7年度の補正予算に前倒しすることにより、事業の着実な推進を図りました。

その結果、新年度の予算規模は、前年度と比較して一般会計は15.5%の増、全会計では8.3%の増となりました。

当初予算の主な事業といたしましては、お手元に配布した資料のとおりですが、予算編成の重点施策ごとに主な事業等を申し上げます。

はじめに『子育て・教育』です。

こどもの国の屋外児童遊園において、こどもたちがより安心して遊べるよう、リニューアルするための実施設計を行います。

公立保育園の3歳以上児への主食提供について、こどもの食育や保護者負担の軽減等を目的として、令和9年4月からの段階的な実施に向け、準備を進めます。

こどもの健康と学びの機会を守るとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、こどものインフルエンザ予防接種費用の助成事業を新たに実施します。

市内の公立小学校に通う児童のむし歯予防を推進するため、フッ化物洗口の実施校を拡大します。

次に、『定住・移住』です。

地方との関わりに関心がある若年層をターゲットに、短期間のお試し移住を通じた市内企業での就業体験や地域行事への参加が可能なプログラムを提供することにより、本市の関係人口を創出します。

市内企業の仕事を体験するイベント「アウトオブキッザニア」について、子どもたちへの将来敦賀に住み働くという選択肢につなげるきっかけづくりとして、令和8年度も引き続き開催します。

次に、『地域経済』です。

北陸新幹線開業効果による観光振興及び経済活性化の拡大を目的に、高付加価値を求める旅行者の受け皿となる飲食機能を備えた宿泊施設の整備に対する補助制度を創設します。

新幹線開業に伴う交流人口の増加に伴い、まちなかに人が集う魅力的な空間創出を図るため、中心市街地エリアの国道8号歩行空間や隣接する民有スペースの有効活用策を検討します。

敦賀市サテライトオフィス誘致戦略に基づき、プロモーションやイベント出展等の誘致活動を展開するとともに、事業者が本市進出を検討する際の後押しとなる取組を進めます。

次に、『安心と暮らしやすさ』です。

現在策定中の氣比の杜整備の基本構想を踏まえ、学識経験者や関係団体等で構成する計画策定委員会を設置し、基本計画を策定するとともに、事業手法等の検討を進めます。

市民の健康や命を守るうえで必要となる、市立敦賀病院の将来的な建替・大規模修繕等に備え、基金を創設し積立を行います。

DXを活用し、災害が予見される場合における迅速な情報収集及びデータに基づく的確な避難指示等の発令を実現するため、防災総合システムを導入します。

以上が令和8年度当初予算の概要でございます。

続きまして、令和7年度3月補正予算について申し上げます。

3月補正予算につきましては、事業の完了や財源の確定に伴うもののほか、早期に予算措置を必要とするものについて計上いたしました。

国の補正予算を活用し、令和8年度に物価高騰対策として水道料金の基本料金の一部を減免するため、必要となるシステム改修費を計上しました。

次に、市民に水害のリスクを周知し、的確かつ迅速な避難につなげるため、水防法に基づき、内水ハザードマップ及び高潮ハザードマップを作成します。

また、昨年度に引き続き、避難所の生活環境改善のため、市内10地区の公民館等を地域の防災拠点と位置付け、トイレ、キッチン、ベッドを中心とした資機材を購入し、避難環境整備を進めます。

さらに、また、清掃センター整備、給食センター整備、小学校校舎照明のLED化改修等を前倒しで実施する予算を計上しました。

その他の予算といたしましては、職員の早期退職に伴う退職手当を計上いたしました。

以上が3月議会に提案いたします令和8年度当初予算及び令和7年度3月補正予算の概要でございます。